



左近山地区

高齢化が進んでおり、団塊の世代が多く住んでいる地域です。



人口 10,819人



6歳未満児数(率) 477人(4.4%)



世帯数 4,781世帯



高齢者数(率) 2,687人(24.8%)



出生数 74人

左近山地域ケアプラザ地域

懇談会開催日

- 第1回目 平成16年9月28日
- 第2回目 平成16年11月9日
- 第3回目 平成17年1月12日



地域の主な福祉保健活動

- ◆ 連合自治会の子ども支援組織(SDS)
- ◆ 有償地域ケアシステム
- ◆ 福祉バザー

支えあい連絡会開催日

- 第1回目 平成17年6月28日
- 第2回目 平成17年10月6日
- 第3回目 平成17年10月24日

様々な取り組みや活動の中から、子育て支援、高齢者・障害者支援、世代間交流の3つの視点で主な活動を掲載しています。

当面取り組む地域の課題

- 地域全体の活気を創り出す
- 地域活動の維持活性化
- ライフスタイルに対応した地域活動

地域懇談会で、これらの課題から取り組むことが話し合われました。

地域での具体的な取り組み

取り組みの目標・テーマ

活気あふれるまちをめざす

取り組みを進めるにあたっての大切にしたい点

隣近所それぞれの状況を互いに知り合い、健康に暮らせるように助け合う環境づくり(仕組みづくり)が大切です。

そして、個人で解決していくことが難しい問題も、地域ぐるみで対策を講じていくことが必要です。

具体的な取り組み

グランドゴルフなどを通じて多世代交流を図る



懇談会参加者

連合自治会関係者 地区社会福祉協議会関係者
民生委員・児童委員 商店街関係者
ボランティアグループ 子育てグループ関係者
障害者

目標 テーマ

活気あふれるまちをめざす

大切にしたい点

誰もが健康に地域で暮らし、地域の課題を共有する
隣近所それぞれの状況を互いに知り合い、健康に暮らせるよう助け合う環境づくり(仕組みづくり)が大切です。
そして個人で解決していくことが難しい問題も、地域ぐるみで対策を講じていく必要があります。

課題

地域全体の活気を創り出す

◇少子高齢化のなかで心身共に健康で、地域活動をより活発にしていきたい

地域活動の維持・活性化

◇ボランティア活動の担い手の高齢化・固定化により、地域活動の維持・活性化が難しい

ライフスタイルに対応した地域活動

◇ライフスタイルの変化に対応した地域活動が必要となっている

目標 テーマ

誰もが気持ちよく暮らせる環境の維持

大切にしたい点

地域が美しく、安全で、誰もが気持ちよく暮らせる環境を維持する
地域が美しく、誰もが気持ちよく暮らせることは皆が願うことです。一人ひとりが地域への責任を果たしていくことが必要です。そして、地域で安心して暮らしていけるよう、身近な安全性を高めていくことが求められます。

課題

地域マナーの向上

◇ごみの出し方や迷惑駐車、ペットの散歩など、地域のマナーが低下している

地域の安全性の確保

◇地域に違法駐車や不審者など様々な危険が潜んでいる

課題、目標テーマ

目標 テーマ

多様な人が安心して共に暮らせる
関係を創り出す

大切にしたい点

地域で見守る環境をつくる

高齢者、障害児者のプライバシーに配慮しつつ、地域で支えられることを考えていくことが大切です。また、地域とのつながりが希薄な若者が気になりますが、昔からの知り合いであれば、気軽に声をかけることができます。小さい頃から知っていることが必要です。

課題

表に見えない「人」を支える

◇ひとり暮らし高齢者などをどう支えるかが課題である

地域とのつながりが希薄な若者

◇地域とのつながりが希薄な若者とどう関わることが大切である

障害児者を支える

◇障害児者と共生することが重要である

